

ちよだ 区議会だより

CHIYODA CITY
ASSEMBLY NEWS



No.276 令和8年1月26日

編集：区議会だより編集委員会 発行：千代田区議会
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
☎03-5211-4297(直通) FAX 03-3288-5920

令和7年第4回定例会
会期：11月19日～12月9日の21日間

- 代表質問…………… 2～3面
- 一般質問…………… 4～5面
- 定例会活動報告等 …… 6～7面
- 可決した意見書等 …… 8～9面
- 委員会で取り扱った請願・陳情 …… 9面
- 会期日程及び10～12月の主な活動… 10面
- 令和7年の議会活動から …… 11面
- 議案の審議結果等 …… 12面

令和7年第2回臨時会
会期：12月26日

- 臨時会の概要…………… 1面
- 議案の審議結果等 …… 12面

新年のご挨拶 千代田区議会議員 秋谷こうき



新年明けましておめでとうございます。千代田区議会議員の秋谷こうきです。

区民の皆様には、日頃より区政に対し深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。希望に満ちあふれる令和8年の新春を迎え、千代田区議会を代表して謹んで新年のご挨拶申し上げます。

区政においては、自然災害に対する危機管理や経済対策の他にも、子ども・子育て支援、DXの推進、高齢者施策、地域コミュニティの活性化、脱炭素社会の実現等、昨年来、まだまだ多くの課題が山積してございます。区議会といたしましても、従来から執行機関と連携を図りながら、施策への取組みを積極的に進めてまいりました。

引き続き本年におきましても、これら諸課題に対する区民の皆様の声を的確に区政に反映させ、「誰もが安全に安心して暮らし続けられるまち千代田」の実現に向け、全力を尽くしてまいります。

今年の干支は「午^{うま}」です。午年は、跳ね馬と称されるように、新たな挑戦が大きな飛躍につながることで、明るい話題と希望の持てる一年になることを望みますとともに、皆様におかれましても、より良い年になりますことを心からお祈り申し上げます。

千代田 区議会議員



西岡めぐみ



大坂隆洋



のざわ哲夫



小枝すみ子



えごし雄一



米田かずや



牛尾こうじろう



岩佐りょう子



小野なりこ



池田とものり



はやお恭一



春山あすか



白川司



永田壮一



入山たけひこ



田中えりか



岩田かずひと



小林たかや



ふかみ貴子



桜井ただし



おのでら亮



富山あゆみ

トップニュース

TOP NEWS

令和7年第4回 定例会

一般会計補正予算第3号を可決

補正前の額「754億4,323万1,000円」に、「3億円」の予算額を追加しました。内容は、「病児・病後児保育事業」及び「公園・児童遊園の整備」の各事業に要する経費の追加です。この結果、補正後の一般会計予算額は、「757億4,323万1,000円」となりました。

また、債務負担行為の補正として、「(仮称)四番町公共施設整備」及び「神田橋公園の整備」の各事項を追加するとともに、「内幸町ホール改修工事」の事項については廃止の上新たに追加しました。

令和7年第2回 臨時会

一般会計補正予算第4号を可決

補正前の額「757億4,323万1,000円」に、「7億7,151万8,000円」の予算額を追加しました。内容は「物価高騰対策区民の暮らし支援事業」です。この結果、補正後の一般会計予算額は、「765億1,474万9,000円」となりました。

また、同事業については、繰越明許費を定めました。

一般会計補正予算第4号の内容

国の交付金を活用し、物価高騰対策として全区民へ1万円分のプリペイド型ギフトカードを配付する「物価高騰対策区民の暮らし支援事業」を実施するために必要な経費を追加するものです。事業実施に当たっては、これまでの実績や意見を踏まえるとともに、使い方への要望にも配慮し、生活支援に取り組むものです。

Q&A

代表質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

次世代・都民ファースト・立憲の会 小野 なりこ



伝統文化等の担い手を確保する施策について

問 地域コミュニティの活性や祭礼等の伝統文化を守り受け継ぐには、まちづくりの視点からも検討が必要。人材の流出で継承が途絶えてしまわないよう、アフォードブル住宅活用等の策が必要。

答 地域に根差した人材が安心して居住できる住まいの確保は非常に重要。アフォードブル住宅への居住の要件等も検討していく。

中高生のための居場所づくり創設について

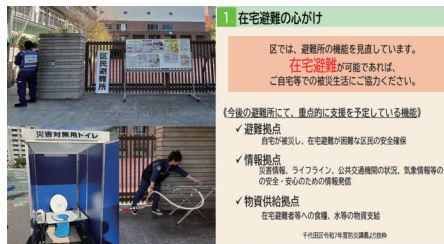
問 短時間や制限が多いものは利用しづらいとの声も。居場所づくりは子どもの成長に関わる取組みである。設置の理念や方向性は。

答 中高生の意見を取り入れた施設づくり等の検証を重ね、将来的には子どもたちの成長に資する専用の居場所を設置していきたい。

大規模災害に備える本区の防災減災について

問 ①今年度から職員による避難所開設サポートの実働訓練と住民向けの防災講座も実施されたが、現段階の課題と今後の解決策は②避難所を開設した場合、炊き出しも可能だが、本区は在宅避難が原則。備えの体制としてキッチンカーの選択肢も有効では。

答 ①熟練者と未経験者で対応力に差があり、開設訓練の拡充や研修開催等で全体のスキルアップを図る②被災者のストレス緩和や生活の質改善にキッチンカー事業者との災害時の協定締結も検討。



町会による避難所開設を区職員がサポートする実働訓練の様子 (出所:議員本人提供)

千代田区議会 自由民主党 池田 ともり



次世代育成(町会祭礼行事、住宅助成等)の取組み

問 ①親元や住み慣れた環境で子育てできるよう、住宅助成制度の見直しや拡充を②町会活動だけでなく、祭礼行事にも欠かせない区民が、安心して次の世代まで継承していくための施策の見解は。

答 ①家賃高騰を踏まえアフォードブル住宅も視野に支援の在り方を検討②祭礼文化継承の調査研究を実施中。祭のシンボルである道具の維持と実際に運営する人材の育成を両輪と考え支援を検討。



出所:議員本人提供

令和8年度予算編成について

問 ①物価高騰、賃金上昇の区への影響は②区民サービスの持続性担保が必要。増え続ける予算への対応や事業見直しへの見解は。

答 ①深刻であり区民に寄り添う対応が重要②効率的な財政運営と区民サービスを維持し、人材確保やデジタル化等で持続可能な行財政運営を徹底。EBPMの更なる推進等、効果的な手法も研究。

安全・安心な子育て環境への取組みについて

問 ①質の向上や課題解決にもつながる学童クラブへの第三者評価の実施を②防犯・防災対策等で学童クラブと小学校の連携状況は。

答 ①区は安全面等の評価を定期実施。都認証学童クラブ事業の第三者評価も運営に生かす。認証外クラブの評価は研究②情報共有で安全・安心な運営に努めており、引き続き良好な連携を進める。

千代田区議会自由民主党議員団 桜井 ただし



令和7年度の分析と予算への反映について

問 6年度一般会計の歳入は特別区税が33.5%、特別区民税も0.9%増も、昨今の人口横ばいの中で今後の財政運営についての見解は。

答 特別区税は歳入の根幹、その増減は財政運営に大きな影響を及ぼす。人口構造の変化を見据え、持続可能な財政基盤を築くための確な施策を講じ、安定的なサービスを継続的に提供していく。

旧永田町小学校の解体、更地化について

問 ①区の留保財産に対しての考え方は②現校舎をそのまま活用した場合、耐震上の安全基準を満たすか③小学校への思いは大切に

したいが、一方で土地の高度利用は常に考えるべき。区の見解は。

答 ①計画的な用地確保は喫緊の課題。既存区有財産の有効活用が重要②平成10年実施の調査では倒壊又は崩壊の危険性あり。現状での活用は不可能③思いをつなげられるよう引き続き丁寧に対応する。また、限りある土地の高度利用は今後も必要なことと認識。

区は国立劇場の再開に向けて国に要請すべき

問 区民が長年親しんできた大切な文化・芸術施設であり、再開に向けて国の責任で一刻も早く整備すべき。国に対して強く要請を。

答 国は重要課題と位置付けており、今後の動向を見守る。また地元自治体として意見を伝えられる機会では積極的に発信していく。



出所:千代田区観光協会ホームページ

Q&A

代表質問 (要旨)

議事録は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

公明党議員団 えごし 雄一



高齢者、住宅確保要配慮者への住宅支援

問 ①高齢者の住居確保について、家主の不安を払拭し、貸したいと思える環境の整備を②区長は効果的な空き家の活用を図っていくと述べたが、住宅転用支援の効果検証の進捗や今後の取組みは。

答 ①区で実施する様々な制度の紹介とともに、高齢者に安心して賃貸できる制度を検討中②アフォードブル住宅の視点を持ち、従前の住宅転用制度の改善点を基に、モデル事業の実施に向け検討。

子どもたちが楽しく、安全に遊べる公園整備

問 ①体を使った遊びを好む子どもは多く、公園遊具の需要は高い。

今後も移動式遊具の活用を②安全性の確保、利用ルールやマナーを守り適切に遊べる環境づくりを地域や保護者と進めては。

答 ①こどもアスレチック広場を開催した子ども部と連携し拡充を検討②意見交換を行い、利用実態に即した納得できるルール等を作成。その上で分かりやすい注意事項の表示や情報発信に努める。



区内の小規模解体工事について

問 ①届出不要な解体工事の実態把握やトラブル発生時の対応を区はどう講じていくか②全ての解体工事を事前周知の対象としては。

答 ①把握はしていないが違反等には指導や調整を行いトラブルの解消や緩和に努めている②他自治体例等も参考に必要性を検討。

日本維新の会千代田議員団 のざわ 哲夫

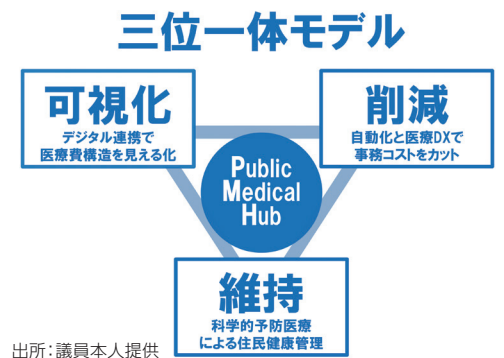


PMHとDX推進と働き方改革

問 区で山積している構造的課題に対応する上でPMHの導入が有効①国の方針を踏まえ、全事業の連結BS(貸借対照表)・PL(損益計算書)の可視化によるEBPM(証拠に基づく政策立案)区政に転換し、医療DXを起点にして国・都と連携したPMH構築を早期に開始すべき。自治体システムの標準化・公共サービスメッシュと整合するPMH構築のため、国・都・区の一元管理時代に対応した設計を②AI活用により職員が判断・企画・伴走支援に専念できる職場設計の推進が重要。区の具体的ロードマップや方針を問う。

答 ①可視化は事業成果や財政状況を客観的に把握し、政策判断の

精度を高める有効手法。PMHの構築に向けては令和8年度の情報連携を見据え、既に具体的時期や対応方針を検討中。国が主導する連携基盤の利活用を見据え取組みを推進し、区民サービス向上や業務負担軽減への寄与を検証するとともに、AI・RPA等の更なる活用を研究していく。また、共通基盤の活用により不要な投資が生じぬよう十分留意する②AIでは代替不可の業務へ職員を集中させる等、全庁的な業務内容の精査のほか職員の裁量拡大や今後の管理職の役割、人事評価・研修制度の見直し、事業ポートフォリオ転換による時間再配分等で、将来にわたり安定した区政運営の実現を目指す。先行事例や他団体等も注視しつつ検討していく。



出所：議員本人提供

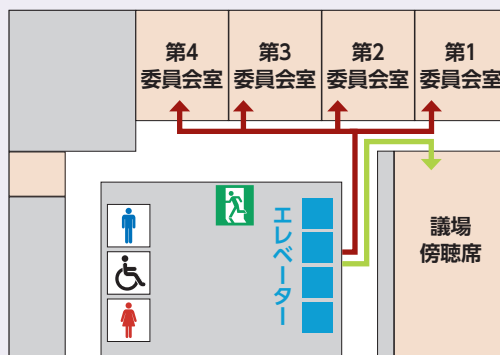
議会はどなたでも傍聴できます。千代田区役所〈8階〉へお越しください。

▶本会議や委員会はどなたでも傍聴できます。

傍聴する場合

開催日程は区議会ホームページでお知らせしていますので、ご希望の本会議や委員会の開催日時に合わせて、千代田区役所〈8階〉の議場傍聴席又は委員会室へお越しください。

※傍聴席には限りがありますので、別室での中継のご視聴をお願いすることがあります。



取材等で録音や撮影を希望する場合

7階の区議会事務局での申請が必要です。開会15分前を目安に手続きを行い、議長(委員長)の許可を得た上で、事務局職員の指示に従って実施していただきます。

※委員会の撮影は原則として会議冒頭のみとしており、開会直前や開会後に申し出られても受付できない場合があります。

その他、託児サービス、手話通訳サービス等も行っています。詳しくは区議会ホームページをご覧ください。

Q&A

一般質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

永田 壮一

(自民)



戦後80年と台湾との関係

問 日本は明治期からアジアの解放を目指し、台湾等を同じ国として併合し発展させてきた。そのような歴史を振り返り日台友好を深めることは覇権主義を拡大する中国に対抗するためにも重要①東京中華学校と災害時の連携強化を②台湾との姉妹都市交流、区や町会行事への招待、イベント共催等を③本区は孫文ゆかりの地。日台の歴史教育や講座開催が有意義。

答 ①学生ボランティアとして被災時の通訳や避難誘導に期待。同校とも協力体制の強化を図る②台湾を含め区内大使館等を中心に交流事業を推進している③歴史学習は指導要領に即し実施。国際教育の観点から主体的学びの中で充実を図る。



東京中華学校の孫文肖像
(出所:議員本人提供)

白川 司

(自民)



就学前教育の重要性について

問 子どもの能力を開花させるには小学校以降では遅い可能性がある。0歳からの早期教育を施策の中心に据え、国の制度を待たず区独自に就学前教育の質向上を。

答 子育て・教育ビジョンにおいても就学前教育を重視。プログラムを独自策定し、区の保育・教育の共通認識として実践中。

乳幼児教育強化の実践について

問 就学前の語彙力支援を放置すれば、確実に格差が拡大することになり、行政が介入する正当性が非常に強い①0～3歳の語彙環境整備支援を体系的に強化すべき②保育士・幼稚園教諭の専門性向上に向けた研修制度の拡充や今後の取組みは。

答 ①幼稚園教育要領と保育所保育指針に豊かな言葉や表現の獲得を掲げており、体系的な強化の方策を引き続き研究②都教委の研修を活用する等、計画的・継続的に実施。今後更に充実させていく。

富山 あゆみ

(自民)



学び広げるインクルーシブ社会

問 学校の教職員や区職員、地域住民等を含む福祉無関心層へ障害理解と合理的配慮(調整)を広げる取組みの充実を。

答 これまでの研修やVODに加えて、随時学べる体制の強化、校内研修を全校で進める。また、区職員、地域住民へは心のバリアフリーの体現により一層努める。



出所:
METI Journal

DXでつなぐ千代田健康づくり

問 受診率と利便性向上に向け、PMHや医療機関との協働を含む歯科健診DX推進を。

答 マイナ保険証連携の支援や若年層への啓発を含む健診DXの推進等、受診しやすい環境を整備。PMH導入に向け国や都の情報を医療機関と共有し協働で取り組む。

米田 かずや

(公明)



基金の計画的な活用と運用方針

問 ①区民生活に資する投資をどう行うか②SDGs 債選定の検討経緯③本区が全国の模範となる持続可能かつ戦略的な運用を。

答 ①基本構想等に基づき中高生世代応援手当等計画的に実施②発行数増加を受け公金運用検討会で審議し4年度から購入③将来の基金活用と区民への還元に向けて安全かつ効率的・効果的に運用する。

フレイル・認知症対策について

問 ①施策の成果と課題、今後の取組みは②英語学習を通じたプログラムの試行を。

答 ①参加者増で地域に定着。特定の参加者に偏らないようニーズを把握し検討②先行自治体事例ほか視野を広げ研究する。



小枝 すみ子

(声)



設計者プロポーザル

問 公共施設建設において参加型で開かれた協議の推進には、設計者が公開でプレゼンし住民参加で選定する手法である公募型設計者プロポーザルの仕組みが必要。

答 施設用途により多様な手法が取り得る。引き続き各段階で必要な手法を選択する。



出所:建築ジャーナル

官製談合事件

問 ①元部長への退職金返納命令書に上司の指示命令等が明示との報道を区は否定。どちらが正しいか②3回にわたる職務に関する法律相談の行政側のメンバーは。

答 ①条例に規定する事情として本人が主張する当該非違に至った経緯を記載②副区長、政経部長、行担部長、政経部参事。

おの でら 亮

(次世代)



成人を対象とした歯科保健推進

問 低い区民歯科健診の受診率向上のための方策は。対象者全員に受診券を封書送付していることを活用し、健康推進事業の案内等世代別年齢別のアプローチを。

答 SNSの活用等世代別のアプローチを実施。関連事業との連携も検討・実施するほか区独自のペーパーレス化等DXも推進。

子どもの歯科矯正・マウスガード作製費用の支援を

問 ①審美目的ではない子どもの矯正治療に子育て支援拡充の一環として支援できないか②子どもの活動には歯の外傷を負うリスクがあり、マウスガード作製が予防に有用。区でも補助事業を開始しては。

答 ①口腔機能の健全発達と審美的側面の線引きは難しく、今後の国の動向も踏まえ研究②区内のスポーツ実施状況や競技団体等の意向、財政負担等の確認が必要。それらを踏まえ導入の可能性を研究する。

Q&A

一般質問 (要旨)

議事録は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

小林 たかや (自民党)



ロケ・アニメ聖地巡礼への対策

問 地域の賑わいに寄与する一方で生活上の不安や苦情も①区民からの相談を総合的に受け止める体制を②ガイドライン策定は③賑わい創出の制度化や制作側から地域への還元の仕組みを導入すべき。

答 ①情報の一律共有は難しいが苦情等に丁寧に対応②策定の考えはない。パトロールやマナー遵守周知を徹底③エリアマネジメントの在り方等の中で検討すべき。

不登校生への支援と居場所作り

問 ①はくちょう教室の現状や民間フリースクール等との連携状況は②不登校時のVLP等ネット出席の保護者への説明体制は③今後の取り組み等、区の総合的考えは。

答 ①適切な人的配置とスペース活用により好評。連携方策は民間施設と協議中②学校長判断で出席扱いとし適切に周知③手法等を構築した上で潜在ニーズを把握・分析し、多様な居場所作りに取り組む。

田中 えりか (国民)



DX推進と情報保護の対策

問 基幹システム標準化やガバメントクラウド利用拡大が進む一方でサイバー攻撃が急増。ゼロトラストの考えに基づく方針の下、どのようにサイバーセキュリティ対策を講じ情報漏洩防止に努めるのか。

答 権限制御や多要素認証等の対策を拡充し、継続的に体制を強化。委託事業者にも安全対策仕様順守等を求め、必要に応じ現場監査等を実施し、今後は国の方針に基づき基準を設け個人情報保護を強化。

AI活用と行政手続き効率化

問 ①生成AIの利用におけるルール策定等、安全かつ効果的な活用の体制は②DXとAIの融合による新しい行政サービスの可能性は大。どのような方針で活用するのか。

答 ①6年に方針・ガイドラインを策定。国の動向や技術的進歩等を踏まえ改訂予定②個々の分野に応じた活用が重要。AI活用を意識し住民サービス向上を進める。

牛尾 こうじろう (共産党)



来年度も区として物価高対策を

問 日本共産党による区民アンケートでは物価高騰で暮らしに影響があると9割が回答①国に対し消費税減税を求めるべき②おこめ券やクーポン等、来年度も生鮮食料品の購入支援が必要。併せて区内個人商店や飲食店でも使えるように検討を。

答 ①国政の場で十分に議論されるべきものと認識②これまでの取り組みの成果を踏まえるとともに、社会状況や国、都等の動向を注視し具体策の検討を重ねていく。

空き家活用を低所得世帯にも

問 区長は手頃な家賃の住戸確保を目指し、賃貸マンション等の空き家調査に着手、結果を踏まえ活用を図ると述べたが、住まいに困っている全ての人を活用対象に。

答 民間マンションの空き家調査のため入居価格が想定できない。今後の調査結果を踏まえた様々な検討の中で、入居対象についても検証する必要があると認識。

入山 たけひこ (次世代)



公園・児童遊園等整備方針

問 公園・児童遊園は区民の憩いと交流の場で区の価値を支える重要な都市基盤①特定の種目に特化する等、先駆的な整備の進め方は②手持ち花火等、新たな利用形態導入時の安全管理をどう整えるか。

答 ①具体的ニーズへの対応にもチャレンジしボルダリング等は飯田橋こどもの広場、ボール遊びは神田橋公園で常時可能に改修②専門家の意見を踏まえてルールを作成し徹底方法等も地域と相談し検討。

神田地域周辺のまちづくり

問 神田駅周辺が持つ東西固有の課題を踏まえた駅中心のまちづくりが必要。回遊性と一体性を高め、地域主体の力を支援しつつ民間と協働する持続可能な体制を。

答 神田駅周辺まちづくり検討に着手。データを洗い出し基本構想策定を進めており、様々な関係団体と東西連携のまちづくりの議論を深め、来年度取りまとめる。

はやお 恭一 (自民党)



再開発と住宅価格高騰の関係性

問 区の都市計画決定による容積率緩和等、行政の規制緩和が結果的に土地建物の付加価値を極端に高め、価格高騰を招き、区民の居住安定を脅かしている可能性。投機を抑え、実際に住む人を増やすための仕組みや住む人への負担軽減策を導入すべき。不動産協会等へ行った要請のその後のチェックとデータ等を踏まえた政策判断への反映等、能動的な政策転換を。

答 今後の市街地再開発事業はアフオーダブル住宅整備等を検討。要請の効果検証等の具体的方法は検討段階。事業者の自主性尊重の仕組みを模索。

子育て世帯が定住可能なまちへ

問 住宅政策を子育て支援として再定義する考えは。国・都・区の役割分担、区主体で行うべき施策の工程や優先順位は。

答 子育て世帯への住宅施策は重要と認識。空き家有効活用を来年度本格的に検討。



定例会 活動報告

常任委員会では、区長提出議案19件のうち18件を審査しました。議案の審査経過をご紹介します。
なお、審議結果は12ページをご覧ください。

常任委員会

企画総務委員会

議案12件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区営千鳥ヶ淵ボート場条例の一部を改正する条例」は、区営千鳥ヶ淵ボート場の運営管理費及び利用の状況等を踏まえ、負担の適正化を図るとともに、使用料に新たな区分を設け、併せて観桜期の設定を改めるものです。

〈審査経過〉

使用料区分に「区民」を設けることによる区民であることの確認は、身分を公的に証明するもの、又は区の施設で発行したカード等を提示してもらうことで考えていること。区民以外の使用料を引き上げることで、ボート場の運営管理費に対する公費負担は40％程度の見込みになると想定していること。広く区民に利用してもらう方法については、まずは区民の利用実態を把握し、今後検討していく考えであること等が明らかになりました。

「オフィスレイアウト変更に伴う什器類の購入(本庁舎6階)について」は、本庁舎6階のオフィスレイアウト変更に伴い、什器類を購入するものです。

〈審査経過〉

契約所管として、事業者に検討の時間になるべく長く取ってもらえるように、所管部署に対して契約請求を早めに提出するよう周知したいと考えていること。今回のように規模の大きい案件は、まとめて発注するか、分割発注するかの判断は難しいが、所管からの契約請求を受け、事業者の受注状況や納期等を踏まえ、所管とよく相談した上で、議会に報告していく考えであること等が明らかになりました。

その他、「千代田区手数料条例の一部を改正する条例」等10議案を審査しました。

文教福祉委員会

議案6件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例」は、区における特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定めるため、条例を制定するものです。

〈審査経過〉

医療的ケア児等の受入れについては、体制整備への補助を含めて今後検討していくこと。私立園4園、区立園2園の計6園が実施の意向を示しており、トータルで60人程度を受け入れることができる見込みであるが、歳児別の受入数には偏りがあり、マッチングが今後の課題であること。人員配置に対する補助、人事所管課との連携等により保育士不足に対応していくこと等が明らかになりました。

〈討論〉

【賛成の意見】

現場の負担軽減については区としてフォローしていくこと、利用までの流れ、未就園児の状況、区独自の基準等が確認できた。今後の本格実施に当たっては、試行の状況等を踏まえながら課題や改善点を見つけ、より良い制度へと発展させてもらいたい旨をお願いし、本議案に賛成する。【西岡】

こども誰でも通園制度については、理念には賛同しつつも、導入は時期尚早との考えにより反対であった。しかし、制度が実施されることとなった現在、施設の安全基準、事業者の選定基準を定めることは必要であり、本条例は、施設の安全性確保や、反社会的団体を排除する内容であるため、本議案に賛成する。【牛尾】

その他、「千代田区保育施設等運営基準条例の一部を改正する条例」等議案5件を審査しました。

環境まちづくり委員会

主な報告事項は以下のとおりです。

「和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備構想(素案)について」は、当該施設が竣工から38年と老朽化していることから、子ども部が中心となり和泉公園との一体的整備の検討を進め、考え方と今後の方向性について、一体的整備構想(素案)として取りまとめたこと。構想のポイント1点目は、現在の公園施設に新施設を建てることで、仮施設を設けず、1回の引っ越しで現施設から新施設への移転が可能となるが、そのためには都市計画変更手続きが必要となること。また、新施設建設から新公園整備までの数年間は公園として利用できないため、代替機能の確保に取り組むこと。2点目は公園の面積・機能と教育環境の両立で、校庭としても利用する人工地盤を一部公園敷地に張り出すことで、面積とセキュリティが確保された校庭を整備すること。また、人工地盤の下は屋根付広場や教養施設等との一体的整備を生かした公園機能の拡充を進めること。公園の具体的なしつらえは今後検討となるが、公園づくり基本方針に基づき、近隣住民や町会との意見交換等を重ねながら、地域に愛される公園整備を目指すこと。今後は、12月にパブリックコメント実施、1月に構想策定、3月に都市計画変更(案)の縦覧を行う予定であること等の報告がありました。

質疑の中で、施設位置の変更に伴い人の動線が変わるため、横断歩道の位置や自転車道の整備等交通安全対策が重要であること。和泉公園が長期間使えなくなるため近隣の4公園で代替を図り、機能充実や年齢層に応じた利用分け等、全体で今の和泉公園の機能を保つよう検討すること等を確認しました。

その他、千鳥ヶ淵公園の整備等8件について報告がありました。

定例会活動報告

特別委員会

デジタル・トランスフォーメーション 特別委員会

区では、行政手続きのオンライン化について、令和5年8月からポータルサイトの運用を開始し、DX戦略において令和9年度までに、原則全ての手続きのオンライン化を目指しています。対象手続き数は約2,800で、行政手続きのオンライン化に係る取組みの考え方や今後のスケジュールの報告がありました。具体的には、個人番号を扱う手続きは、セキュリティの観点からマイナポータルを利用する等、オンライン化の手段を複数想定していること等の説明がありました。

その他、基幹業務システムの統一・標準化の取組みに関する進捗状況として、標準化されたシステムとコンビニ交付システムとの連携検証のため、コンビニ交付の利用停止を予定していること等の報告がありました。

契約にかかる不正行為等再発防止 特別委員会

契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会において刑事確定訴訟記録を閲覧し、作成したメモについて、委員会としてどのように取り扱うかを決定する参考とするため、弁護士へ依頼することとしたリーガルチェックの経過報告がありました。

委員会では、リーガルチェックに当たり各委員から提出された確認事項や意見について、委員長が取りまとめの上、正式に2名の弁護士に依頼したこと。リーガルチェック結果報告書は、1月上旬ごろに提出される見込みであること等が報告されました。

今回の委員会は、リーガルチェック結果報告書が提出された後に開催することとし、刑事確定訴訟記録メモの共有等について協議することを確認しました。

予算特別委員会

全議員で構成する当委員会に審査を付託された議案の審査経過及び結果は以下のとおりです。

「令和7年度千代田区一般会計補正予算第3号」は、病児・病後児保育事業及び公園・児童遊園の整備の各事業に要する経費として、3億円を予算計上するものです。また、債務負担行為の補正として、(仮称)四番町公共施設整備及び神田橋公園の整備の各事項を追加するとともに、内幸町ホール改修工事の事項を廃止及び追加するものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、病児・病後児保育事業は、準備期間中に変更が出た場合、柔軟に対応する考えであること。設置を予定している病児保育室は、診療所と別建物ではあるが、医師が迅速に駆け付けられる距離にあること。神田橋公園改修整備では、安全面への懸念を踏まえ、通常より明るい照明を設置すること。防災の視点を踏まえ、整備を検討すること。ボール遊び広場は、安全面を考慮し、夜間は施錠するとともに、防犯カメラを設置し、青パトの警備強化を行うこと。ボール競技の専門家等の意見を

聞き、使いやすい広場となるよう検討すること。遊具広場等で遊ぶ子どもたちが、近く的高速道路出入口に飛び出さないよう、対策を講じること。水飲み場は、他の広場の状況や夏の猛暑対策を考慮し、設置場所、設置数を検討すること。噴水広場は、水遊びができる場所であることが分かるような名称に変更すること。(仮称)四番町公共施設整備は、契約変更の内容等について、丁寧で分かりやすい説明に努めることを区が考えていること等が明らかになりました。

質疑を終了し、採決の結果、賛成全員で可決すべきものと決定しました。



可決した意見書

固定資産税及び
都市計画税の
軽減措置の継続を
求める意見書

全会一致

我が国経済は、コロナ禍を経て緩やかな回復基調にあるものの、円安や資源価格の高騰によるコスト増、さらには世界経済の不透明感が事業活動に深刻な影響を及ぼしています。

とりわけ、固定資産評価額が極めて高水準にある千代田区においては、区民が依然として固定資産税及び都市計画税の重い負担を強いられています。加えて、区内の中小企業・小規模事業者は、売上の不安定さに加え、インボイス制度導入による負担増により、事業の継続すら危ぶまれる厳しい経営環境に置かれています。

このような状況下にあっても、安心して住み、働き続けたいと願う区民の負担軽減を求める声は切実です。こうした声を受けて、千代田区は、長年にわたり、区民・町会・事業者と区議会が一体となり、固定資産税の大幅な減税を強く要望してまいりました。

一方、東京都においては、地方税法に基づき認められる裁量を最大限に活用し、固定資産税及び都市計画税の軽減措置として、独自の特例を講じています。しかしながら、特別区は大都市圏として地価水準が依然として高く、住宅コストのみならず税負担も増大している現状に鑑みれば、これらの特例措置が廃止された場合、区民に及ぼす経済的・心理的影響は甚大であり、計り知れないものがあります。

よって、千代田区議会は東京都に対し、納税者が真に納得し得る税負担となるよう、固定資産税及び都市計画税の制度改革を国へ積極的に働きかけるとともに、下記の事項について強く要望するものです。

記

- 1 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置を、令和8年度以後も継続すること
- 2 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置を、令和8年度以後も継続すること
- 3 商業地等における固定資産税及び都市計画税について負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置を、令和8年度以後も継続すること

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

(提出先)東京都知事

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

可決した意見書

地方公共団体の
基幹業務システムの統一・
標準化の取り組みのさらなる
推進を求める意見書

討論の録画映像は
こちらから

国は、基幹業務システムの統一・標準化への取り組みを通じて、各自治体が情報システムを個別に開発する際に生じる人的・財政的な負担を軽減し、地域特性に応じた住民サービスの向上に専念できる体制の構築や新たなサービスの迅速な展開を可能とすることをめざしています。

今後は、こうした標準化の成果を最大限に活用し、住民の理解のもと、自治体内や自治体間、国との間でのデータ連携を一層推進することで、住民サービスの質と効率の向上を図ることが求められます。

ついては、国が主導する「公共サービスメッシュ」の整備を通じて、行政機関が保有するデータを円滑に活用・連携できる環境を構築し、住民サービスのさらなる向上や自治体職員の業務効率化・負担軽減を図ることで、職員が住民への直接的なサービス提供や地域の実情に応じた企画・立案業務等に一層注力できる体制を整えること

が重要です。

以上を踏まえ、国におかれては、下記の現場の実情を考慮し、財政上の懸念を払拭するため、早急に実施されるよう、強く要望します。

記

- 1 行政機関が保有するデータに関しては、個人情報保護法等の規定を十分に踏まえ、適切に管理・運用することが前提となっています。自治体内情報活用サービスによるデータの活用・連携にあたり、個人情報の適正利用に向け、各自治体間で運用の格差が生じないよう、既に整備されている「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン」に基づき、具体的な運用事例や解釈に資する手引書を迅速に提示すること。
- 2 国が主導する「公共サービスメッシュ」の整備状況等について、継続的かつ具体的に詳細な情報提供を自治体に行うとともに、整備にあたり、自治体への影響が見込まれる場合には、継続的に意見を聴取する機会を設け、必要に応じて意見照会を実施すること。
- 3 システムの運用経費が大幅に増加する懸念を払拭するため、クラウド利用料の大口割引の継続的・安定的提供や、コスト最適化に向けた支援を抜本的に強化すること。また、「公共サービスメッシュ」の利用等に際して、制度改革等に伴うものはもちろんのこと、制度改革以外の改修が見込まれる場合にも、国庫負担による支援を講じること。加えて、本格運用前の検証事業等を実施する場合は、その費用負

担や技術支援などについても十分な対応を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

(提出先)衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、総務大臣、デジタル大臣

〈討論〉

【反対の意見】

共通システムは仕様を柔軟に変更できず、住民サービスの拡充や住民ニーズに適切に応えることが困難になり、地方自治が後退しかねない。また、国主導で自治体の個人情報保護条例は廃止させられたが、住民の個人情報の取扱いは自治事務であり、自治体が自主的に取り扱えるよう改善を図るべき。デジタルの活用は国民の基本的権利と地方自治を踏まえたものに抜本的に見直すことを求め、本議案に反対する。 【牛尾】

【賛成の意見】

標準化の取り組みが進むことで、自治体の職員は住民への直接的なサービス提供や地域の実情に即した企画・立案業務に一層注力できる体制が整う。一方でデータ活用や連携に当たっては個人情報の適切な管理運営が不可欠である。取り組みの更なる推進に向け、個人情報保護の徹底と財政負担軽減の観点に加えて、地方の実情を踏まえたデジタル化の恩恵を区民に確実に届けるためにも、本意見書に賛成する。 【富山】

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

本会議における討論

・千代田区議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

可決

・千代田区長及び副区長の給与及び旅費条例の一部を改正する条例

可決

・千代田区教育委員会教育長の給与及び旅費並びに勤務に関する条例の一部を改正する条例

可決

討論の録画映像は
こちらから



【反対の意見】

公民比較調査の対象規模を大企業中心としたことは重大な問題。区民の多くが働く中小企業の所得こそ基準であるべき。人材確保と区民サービス維持のため一般職員の給与改定は理解できる一方、物価高騰下で特別職の報酬引上げは区民の理解を得られない。政治家がまず自らの身を削り、行財政改革を率先すべき。公民比較調査手法の改善、行財政改革、職員の働き方改革を強く要望し、本議案に反対する。 【春山】

区民は比較にならないほど物価高騰の影響を受けているが、暮らしを支える施策が弱過ぎると言わざるを得ない。しかも低所得者が多く加入する国保料を23区で唯一引き上げた一方で、国保料の負担軽減や住宅支援の願いには背を向けている。また、官製談合防止についても議会は未だ再発防止策の議論が始まっておらず、特別職の報酬引上げに対して区民の理解が得られるものではない。以上の理由から反対する。 【牛尾】

【賛成の意見】

報酬等審議会では他区の改定状況や不動産価格急騰に伴う家賃上昇といった本区の経済事情等が勘案された。今回の上げ幅は民間の賃上げ率平均には満たないものの、なり手の固定化防止等、社会経済情勢や動向を考慮した適切な対応と考える。引上げ不要であれば退職時の返納や選挙区外への寄附等が可能であり、議員定数削減により議会費総額ベースでの削減を実現すべき。以上の理由から賛成する。 【おのでら】



委員会で取り扱った請願・陳情 (令和7年10月17日～12月26日)

詳細は、区議会ホームページで
ご覧になれます。



請願・陳情名 (受付順に掲載)	付託・送付委員会	審査状況 (令和7年12月26日時点)
百条委員会の設置を求める陳情	議会運営委員会	継続審査
工事契約に関する議員の関与について真相解明を求める陳情書	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
不祥事に関する迅速な状況把握と再発防止に関する説明、 区民をはじめ多様な人が話し合って決めるまちづくりの実現を求める陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
泥沼にはまった千代田区を助けるための調査をお願いする陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
都市計画審議会による「二番町地区地区計画の変更」の附帯決議の優先事項の確認と、 実効性ある実施を議会から区に求めている陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画附帯決議の実行についての陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
「二番町地区地区計画の変更」の附帯決議の「全ての関係者が」話し合える場づくり の開催を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町計画の附帯決議に基づく適切な「前向きな話し合いの場」をお願いする陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区再開発に関する話し合いの場に係る陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田区の官製談合事件の真相究明のために、第三者委員会もしくは百条委員会の 設置を求める陳情	議会運営委員会	継続審査
二番町地区再開発に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
都計審の附帯決議に基づく適切な「前向きに話し合える場」づくりに関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町日テレ跡地再開発における安全・安心等に関する丁寧な説明を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町の日テレ跡地再開発における地域貢献と加算容積率に関する説明を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
旧永田町小学校校舎の留保財産候補選定及び今後の活用方針に対する陳情	企画総務委員会	審査終了
文化財、歴史的価値のある旧永田町小学校校舎を解体しないで活用するための陳情	企画総務委員会	審査終了
日本テレビによる二番町計画についての環境影響調査の説明を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情	企画総務委員会	審査終了
固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情	企画総務委員会	審査終了
二番町計画の与件整理と基本計画の順序を正す陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
「学びの多様化」を推進する教育拠点の設置を求める陳情	文教福祉委員会	審査終了
旧永田町小学校校舎の解体中止および保存・活用を求める陳情書	企画総務委員会	審査終了
永田町小学校解体を決定する前に、保存活用と解体を比較する調査を求める陳情	企画総務委員会	審査終了
旧永田町小学校、幼稚園校舎の文化財価値に関する調査を求める陳情	企画総務委員会	審査終了
旧永田町小学校、幼稚園校舎に付き陳情者と委員会の懇談を求める陳情	企画総務委員会	審査終了
番町での焚き火を環境と健康への配慮からやめさせていただく陳情	環境まちづくり委員会	審査終了

スマートフォンやご自宅のPC等で 議会中継をご覧いただけます

千代田区議会の本会議や委員会等の公式な会議の映像は、区議会ホームページからご覧いただけます。また、目のご不自由な方のために、本会議のライブ中継時には文字配信も行っています。

会議の開催日程を区議会ホームページでご確認の上、ご覧ください。

(公式な会議は原則として中継や配信を行います。が、開始時刻や開催場所等によっては行わない場合もあります)

千代田区議会

議会の中継・録画映像を御覧いただけます。

千代田区議会
インターネット議会中継

生中継を見る
(ライブ映像)

会議の日程から選ぶ
(録画映像)

議員の名前から選ぶ
(録画映像)

録画映像の検索
(録画映像)

インターネット
中継

文字配信
(本会議のライブ
中継のみ)



令和7年第4回定例会・令和7年第2回臨時会の会期日程
及び10～12月の主な活動 (10月17日～12月26日)

会期中

閉会中

月/日	日程
10/24	議会運営委員会
	デジタル・トランスフォーメーション特別委員会
28	デジタル・トランスフォーメーション特別委員会 国内行政調査 (NTT e-City Labo の現地調査)
11/7	企画総務委員会
	環境まちづくり委員会
11	文教福祉委員会
12	〈令和7年第4回定例会告示日〉
	議会運営委員会
17	議会運営委員会
19	議会運営委員会
	本会議 (会期の決定・区長招集挨拶等)
20	議会運営委員会
25	議会運営委員会
26	本会議 (代表質問・一般質問)
27	議会運営委員会
	本会議 (一般質問・議案の付託等)
	予算特別委員会
28	企画総務委員会
	文教福祉委員会
	環境まちづくり委員会
	議会運営委員会
	本会議 (議案の議決)

月/日	日程
12/1	予算特別委員会
	議会運営委員会
	本会議 (議案の議決)
3	デジタル・トランスフォーメーション特別委員会
	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会
4	議会運営委員会
	本会議 (議案の付託)
5	企画総務委員会
	文教福祉委員会
	環境まちづくり委員会
8	議会運営委員会
9	議会運営委員会
	本会議 (議案の議決等)
16	政務活動費交付額等審査会
18	政務活動費交付額等審査会
19	企画総務委員会
22	〈令和7年第2回臨時会告示日〉
	議会運営委員会
23	文教福祉委員会
26	議会運営委員会
	令和7年第2回臨時会

令和7年の議会活動から

請願・陳情

(1) 請願受付・取扱件数

受付件数	採択	不採択	継続審査	審査未了	取下げ	取扱い 未定等
0	0	0	0	0	0	0

(2) 陳情受付・取扱件数

受付件数	委員会 に送付	委員会に 参考送付	審査に なじまない	取下げ (送付前)	取扱い 未定等
60	44	0	14	1	1

(3) 送付陳情の審査内容等

①委員会に送付

合計	趣旨に添った 取扱いを すべき	趣旨に添い がたい	引き続き 審査 していく	その他の 取扱い	取下げ (送付後)	取扱い 未定等
93	3	1	16	71	0	2

※令和5年から審査していたもの24件、令和6年から審査していたもの25件を含む

②委員会に参考送付

合計	趣旨に添った 取扱いを すべき	趣旨に添い がたい	引き続き 審査 していく	その他の 取扱い	取下げ (送付後)	取扱い 未定等
1	0	0	0	1	0	0

※令和5年から審査していたもの

本会議別議決件数

項目	区長 提出議案	委員会 提出議案	議員 提出議案	請願	報告
定例会					
第1回定例会	26	0	1	0	3
第1回臨時会	2	0	1	0	3
第2回定例会	13	1	2	0	1
第3回定例会	11	1	0	0	2
第4回定例会	19	1	1	0	1
第2回臨時会	1	0	0	0	0
合計	72	3	5	0	10

千代田区議会情報公開制度実施状況

(1) 請求種類別請求件数

	請求件数	請求内容			
		本会議関係	委員会関係	政務活動費 関係	その他
公文書開示請求	3	0	0	1	2
情報提供請求	0	0	0	0	0
計	3	0	0	1	2

(2) 個人・法人別請求件数(住所・所在地内訳)

		住所又は所在地				
		千代田区内	都内 (千代田区内を除く)	都外	国外	合計
公文書 開示請求	個人	2	0	1	0	3
	法人等団体	0	0	0	0	0
	計	2	0	1	0	3
情報提供 請求	個人	0	0	0	0	0
	法人等団体	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0

(3) 請求方法別請求者数内訳

	来庁	郵送	ファクシミリ	電子メール	合計
公文書開示請求	0(0)	0(0)	0(0)	3(0)	3(0)
情報提供請求	0	0	0	0	0

※公文書開示請求欄の（ ）内は情報提供扱いとしたものの件数(内数)

(4) 開示等の処理状況内訳

	開示	一部開示	非開示	不存在	合計
公文書開示請求	2(0)	1(0)	0(0)	0(0)	3(0)
情報提供請求	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

※（ ）内は自己情報の件数(内数)

(5) 審査請求件数

審査請求	審査会に 聴取
0	0

(6) 審査会の聴取結果件数

原処分 妥当	一部妥当	妥当でない	審査中	合計
0	0	0	0	0

他議会から千代田区への視察状況

実施件数 29件
視察人数 延べ188人(27議会)

視察事項	件数	人数
ウォーカブルなまちづくりについて	6件	70人
千代田区内の投機目的でのマンション取引等に関する要請について	5件	13人
議会運営について	2件	29人
九段中等教育学校の取組みについて	2件	11人
生成AI活用について	1件	10人
千代田図書館及び区議会議場の施設について	1件	10人
子どもの居場所づくりについて	1件	9人
千代田区立図書館について	1件	8人
行政手続きのオンライン化について	1件	7人

視察事項	件数	人数
高齢者支援・認知症支援について	1件	7人
公衆喫煙所を増やす取組みについて	1件	5人
雨水流出抑制施設設置に関する指導要綱について	1件	3人
Eサイクルちよだについて	1件	1人
麴町中学校の取組みについて	1件	1人
障害者就労支援について	1件	1人
ドッグランについて	1件	1人
保護猫等の取組みについて	1件	1人
レシ活ちよだについて	1件	1人

議案の審議結果等

(令和7年第4回定例会)
(令和7年第2回臨時会)

可(可決) 否(否決) ○(賛成) ×(反対)

欠(欠席) 退(退席) 除(除斥) 棄(棄権)

議員名等 ※議員名の下段は、会派名略称		出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議決月日	
							西岡めぐみ	大坂隆洋	のざわ哲夫	小枝すみ子	えごし雄一	米田かずや	牛尾こうじろう	岩佐りょう子	小野なりこ	池田とものり	はやお恭一	春山あすか	欠員	白川司	永田壮一	入山たけひこ	田中えりか	岩田かずひと	小林たかや	欠員	ふかみ貴子	桜井ただし	秋谷こうき	おのでら亮	富山あゆみ		
							自民党	自民党	維新	声	公明	公明	共産党	次世代	次世代	自民党	自民党	維新		自民	自民	次世代	国民	次世代	自民党		次世代	自民	次世代	次世代	自民		
議案名等																																	
令和7年第4回定例会																																	
委員会 提出 議案	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書	22	21	21	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9	
	地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化の取り組みのさらなる推進を求める意見書	22	21	19	2	可	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9	
区長 提出 議案	令和7年度千代田区一般会計補正予算第3号	21	20	20	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	12/1	
	千代田区手数料条例の一部を改正する条例	22	21	21	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9	
	千代田区営千鳥ヶ淵ポート場条例の一部を改正する条例	22	21	21	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9	
	千代田区保育施設等運営基準条例の一部を改正する条例	22	21	21	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9	
	千代田区家庭的保育事業等の認可に係る設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	22	21	21	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9	
	千代田区放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	22	21	21	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9	
	千代田区立障害者福祉センター条例及び千代田区立障害者就労支援施設条例の一部を改正する条例	22	21	21	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9	
	旧区立練成中学校改修機械設備工事請負契約について	22	21	21	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9	
	千代田区役所7・8・9・10階他照明設備改修工事請負契約について	22	21	21	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9	
	オフィスレイアウト変更に伴う什器類の購入(本庁舎6階)について	22	21	21	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9	
	千代田区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/28
	千代田区議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	23	21	16	5	可	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	11/28
	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/28
	千代田区長及び副区長の給与及び旅費条例の一部を改正する条例	23	22	17	5	可	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/28
	千代田区教育委員会教育長の給与及び旅費並びに勤務に関する条例の一部を改正する条例	23	22	17	5	可	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/28
	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/28
	千代田区特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	22	21	21	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9
幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/28	
区立内幸町ホール改修電気設備工事請負契約について	22	21	21	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9	
報告	損害賠償請求事件に関し専決処分により和解した件について																															11/27	
令和7年第2回臨時会																																	
区長 提出 議案	令和7年度千代田区一般会計補正予算第4号	22	21	21	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/	○	○	○	○	○	○	/	○	○	同上	○	○	12/26

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数23名
◇ 会派名(略称) 次世代・都民ファースト・立憲の会(次世代)／千代田区議会 自由民主党(自民党)／千代田区議会自由民主党議員団(自民) 公明党議員団(公明)／日本維新の会千代田議員団(維新)／日本共産党(共産党)／国民民主党(国民)／ちよだの声(声)

令和8年第1回
定例会の主な予定

2/10(火)	告示日
2/17(火)	招集日
2/25(水)	代表・一般質問
2/26(木)	一般質問

※日程は変更となる場合があります
※詳細は区議会ホームページをご覧ください

区議会だより編集委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

◎富山 あゆみ(自民)
○牛尾 こうじろう(共産党)
西岡 めぐみ(自民党)
のざわ 哲夫(維新)
小枝 すみ子(声)

えごし 雄一(公明)
岩佐 りょう子(次世代)
田中 えりか(国民)
ふかみ 貴子(次世代)

※音声版(CD)、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局☎03-5211-4297(直通)までご連絡ください。区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、「区議会公式X(旧Twitter)」では、区議会の最新情報を発信していますので、ぜひご利用ください。

ホームページアドレス
https://gikai-chiyoda-tokyo.jp

メールアドレス
kugikai@city.chiyoda.lg.jp

公式X(旧Twitter)
@Chiyoda_Kugikai

ご希望の方には「ちよだ区議会だより」を郵送致します。区議会事務局までご連絡ください。

FSC

ミックス紙
FSC® C182036